



柏の葉だより

第7号

市川市立第五中学校
令和4年11月2日



「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

学力向上と授業改善

城山祭が終わり前期の通知表も10月21日に配布しました。いかがだったでしょうか。今年度もコロナ禍の中ですが、通常の学校生活に近い形に戻りつつあります。家庭科などの授業でも、感染対策に十分気を付けたうえで調理実習もおこなっています。学校生活を3年前のコロナ感染以前の状態に近い形になるようにしています。全校生徒で一つの場所に集まったの学校行事は未だ慎重な検討が必要ですが、リモートを活用した活動により、他学年との交流もできるようになってきました。また、2学年では10月26日に無事、マザー牧場での校外学習も実施することができました。1学年の鎌倉校外学習も11月22日に予定しています。

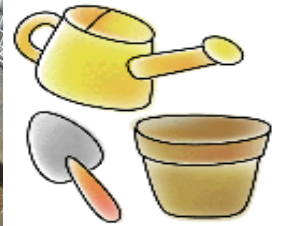
さて、これからの時代を生き抜くために必要な力は、『何かに取り組むときに「なぜ?どうして?」と問題を見つけることができる』『自分で考えをもって人に伝えることができる』『人の考えを聞いて、自分の考えと比べて、答えを見つけることができる』等の力だと言われています。この力は、昨年度より完全実施された学習指導要領の総則(全ての教科・領域に関わる部分)で、『学習の基盤となる資質・能力』として示された「情報活用能力」「言語能力」「問題発見・解決能力」の3つの力をわかりやすく表しています。

本校の学校教育目標には、まず【学ぶ楽しさを知る】ことが掲げられています。先月18日に千葉県の教育事務所の先生方が本校を訪問していただいた際に、授業のポイントを6つ示していただき、全教職員で共通理解をしました。それらは、①生徒の頭の中に疑問を持たせ、「解き明かしたいな」という気持ちになるようにする事が大切とアドバイスを受けました。そのため、授業中は課題提示をしっかりとるようにしていきます。またなるべく「めあて」のマグネットを使用していきます。②課題解決への見通しを持たせます。(道すじの説明やヒントを提示)③一人ひとりが考える時間・場面をつくります。④生徒の関わり合い、深める時間をとります。(表現する・話す・聞く場面をつくる)⑤まとめ、ふりかえりをします。(自己評価・相互評価)⑥ICTを積極的に活用します。等でした。今後も生徒たちの学力向上のために授業改善をしていきたいと考えております。



城山会・花壇の整備

10月30日(日)今年も城山会(PTA OB・OG)と現役PTAとが協力して、花壇に色とりどりの花を植えました。今回も残念ながら生徒の参加は見合わせましたが、秋晴れの中、気持ちよく2時間ほどの作業により花壇が整備されました。週明けの31日(月)は3年生が昼休み学年写真の撮影のため全員が中庭にでていましたが、色とりどりに咲いた花壇の花々を見て期末テストや実力テストが迫っている3年生も、ほっとした表情が見られました。いつも五中を応援して下さる『城山会』の皆様、本当にありがとうございました。



なでしこ・ペコニア等の草花

令和4・5年度生徒会本部役員

9月26日に生徒会役員選挙があり、10月からは生徒会役員も新しいメンバーになりました。全校で集まる機会もなく、引継ぎ式などは実施できない中での新しい生徒会役員7人の生徒さんたちでしたが、先日校長室で一人ひとりに「委嘱状」を手渡すことができました。

今回、コロナ禍ということもあり、校長室での任命式は初めての試みでしたがこれから来年の9月下旬までの期間、学校のリーダーとして五中をより良い学校へと導いてくれることを期待しています。

令和4・5年度生徒会本部役員

- 会長
- 副会長
- 副会長
- 書記
- 書記
- 会計
- 会計監査
- 会計監査

<文責・川俣>

<※学校HPを随時更新しています。QRコードよりご覧ください。>

五中HPを
ご覧ください

